

---

第 13 報 平成 30 年 1 月 17 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

---

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 30 年 1 月 12 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 【生コンクリート】

### （熊本地区）

熊本地区の12月の出荷量は7万3,021m<sup>3</sup>と前年同月比36%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。元交通センター等の跡地再開発工事の大型物件もあり、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万5,500円どころ。熊本地区生コン協組では、アジテーター車のチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ等をふまえて、平成29年4月以降の契約物件よりm<sup>3</sup>当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉に臨んでいる。しかし、需要者側は値上げに抵抗しており、市況に変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。

### （阿蘇地区）

阿蘇地区の12月の出荷量は2万7,266m<sup>3</sup>と前年同月比123%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事等が本格化してきたことにより出荷は大幅に増加している。それに伴い、アジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。今後も、国道57号線の復旧関連工事等の大型需要が控えており、さらなる需要増が見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【コンクリート用砕石】

### （熊本地区・阿蘇地区）

震災復興関連工事、元交通センター等の跡地再開発工事等で需要は堅調。販売業者側は増加する需要に対応するためフル生産の状況であり、需給はややひっ迫している。

価格は20～5mmが熊本地区で前月比m<sup>3</sup>当たり200円上伸し、3,400円。阿蘇地区でm<sup>3</sup>当たり300円上伸し、3,900円どころ。熊本地区砕石共販協同組合ではダンプのチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人件費の上昇、出荷量の増加に対応するための設備更新費の増加を背景に10月1日取引分より熊本地区向けでm<sup>3</sup>当たり200円程度、周辺地区向けでも同程度の値上げを表明し売り腰を強めていた。生コン需要が増加するなか、骨材需要も伸びており需給はタイト化している。そのような状況下、原材料の安定供給を優先した需要者側が値上げを受け入れたため価格が上伸。先行き、横ばい推移の見通し。

## 【アスファルト混合物】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の11月の出荷量は9万6,067tと前年同月比約6%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。県道等の復旧に伴う舗装工事が発注になっているが、本格的な出荷はまだ先の見通しで、今のところ需給は均衡している。

価格面では、ダンプのチャーター料金が値上がりしており、運搬コストは増加している。主原材料であるスト・アス価格は強含みで推移し、砂・砕石は値上がりするなど、原材料価格が強基調で推移するなか、メーカー側は価格の引き上げを検討している。ただ、需要者側の購買姿勢は厳しく、現行価格の維持が精一杯の状況。先行き、横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成30年1月12日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [128]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [189]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20~5mm [189]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	上伸	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	上伸	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40~0mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	ややひっ迫	均 衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	上伸	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [320]	熊本	—	(変動なし)	t	11,200	変わらず	均 衡	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均 衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1~2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成30年1月12日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [20]	熊本	マンション、商業施設向けなどの引き合いが堅調で、需給は均衡している。価格は、SD295 D16で先月に引き続きt当たり3,000円の上伸となった。原料の鉄屑価格が高値圏で推移しており、メーカーは強気の販売姿勢を崩していない。先行きも、市況は強含みで推移する見通し。	均衡	均衡	強含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [213]	熊本	産地側の原木不足による生産および出荷の遅れによる影響で、市中には品薄感が続いている。需要面では、熊本市中心部の大規模再開発、学校施設、商業施設向けの出荷がみられる。産地価格の高止まりにより、販売側は採算重視の姿勢を強めており、価格は前月比で枚当たり20円上伸している。需給はこの先もタイトな状況が続くものとみられることから、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

## 【主要資材の価格推移】





